

企画展

暮らしと遊びのなかの

― 林直輝・紙鳶洞コレクション ―

富士山



江戸風絵「富士越龍」橋本禎造画（昭和時代）



五月人形「金太郎」宇佐美弘業作（昭和時代）

令和4(2022)年

4.29 FRI ^祝

6.26 SUN

静岡県富士山世界遺産センター
2階 企画展示室

〔開館時間〕 9:00～17:00 ※最終入館は16:30
〔休館日〕 毎月第3火曜日(5月17日、6月21日)、施設点検日(6月6日～10日)
〔観覧料〕 一般…300円
15歳未満・70歳以上・学生・障害者等…無料(証明書をご提示下さい。)
〔協力〕 日本人形文化研究所

本企画展は常設展観覧料でご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、変更・中止となる場合があります。
ホームページをご確認ください。

<https://mtfuji-whc.jp>



静岡県富士山世界遺産センター



暮らしと遊びのなかの

林直輝・紙鳶洞コレクション

富士山

富士山は世界文化遺産の登録において「信仰の対象と芸術の源泉」と位置付けられているように、古来、さまざまな芸術を育んできました。富士山を題材とした絵画や工芸品は非常に幅広く、今日に至るまで、じつに多種多様な作品が生み出されています。庶民に親しまれた絵画としては浮世絵版画が知られるところですが、一般家庭の日用品やおもちゃなどにも富士山は数多く表現されてきました。

本展では、そうした私たちの暮らしや遊びのなかにもみられる富士山を、富士市在住の林直輝氏所蔵の「紙鳶洞コレクション」からご紹介いたします。長い歴史のなかで育まれてきた富士山の姿を見つめ直すとともに、それらに託された庶民の素朴な心情を汲み取っていただければ幸いです。



組上灯籠「羽衣」梅堂国政画(明治31年)



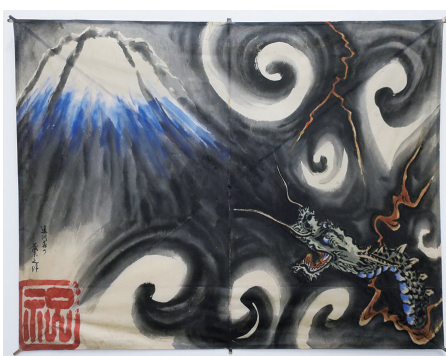
富士山図木目込文庫(江戸時代)



寄木細工秘密箱(昭和時代)



富士山図旗(明治時代)



ぶか凧「富士越龍」藤原政雄作(昭和時代)



松岡映丘筆「富士」(昭和時代)



林直輝氏

富士市出身・在住。吉徳資料室学芸員、同室長を経て、日本人形文化研究所所長。幼少より日本の伝統的な美術工芸品を愛好し、自ら収集した「紙鳶洞コレクション」は約3万点にのぼる。テレビ東京系「開運!なんでも鑑定団」に鑑定士として出演中。

関連イベント

・公開講座 5月15日(日) 14:00~15:00

富士山を楽しむー民俗資料の美・美術品の民俗ー展示品を中心に、民俗資料として扱われるもののなかに見られる美術工芸的な点、美術作品のなかに見られる民俗的な点についてお話しします。

講師：林直輝氏 会場：1階研修室

※定員や申し込み方法等についてはセンター公式HPをご確認ください。 <https://mtfuji-whc.jp>

・ギャラリートーク

出品者の林直輝氏が展示の見どころなどを解説いたします。
4/29(金・祝)、5/28(土)、6/25(土) 各日14時~
(各回1時間程度、申込不要、要観覧券)

会場：2階企画展示室



静岡県富士山世界遺産センター

お問い合わせ
静岡県富士山世界遺産センター
〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12
TEL 0544-21-3776 FAX 0544-23-6800
E-mail:mtfuji-whc@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ <https://mtfuji-whc.jp>

ACCESS

新幹線/新富士駅からバスまたはタクシー約40分
電車/JR身延線富士宮駅から徒歩約8分
車/新東名高速道路新富士ICから約10分
●奥名高速道路富士ICから約15分
駐車場/富士宮市神田川観光駐車場(有料)